

## 授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 貝淵 正人		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 人間の日常生活の基本として遂行される食事、排泄、整容、更衣、移動などの動作遂行に必要な条件を理解し、日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）に関連する基礎的・応用的知識について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. ADL の概念について説明できる。 2. 基本動作の特徴を分析することができる。 3. 代表的疾患に特有な ADL 評価を説明でき、プログラムを立案施行できる。 4. 健常者の ADL の動作を模倣・説明をすることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ADL の基本的考え方、領域と分類、ADL 支援システム			1	講義、担当：貝淵 正人
2	ADL 評価と動作分析の基礎知識			1・2	講義、担当：貝淵 正人
3	福祉用具の基礎知識			1・3	講義、担当：貝淵 正人
4	ADL の範囲			3	講義、担当：貝淵 正人
5	健常者の BasicADL（寝返り）			3	講義、担当：貝淵 正人
6	健常者の BasicADL（起き上がり）			1	講義、担当：貝淵 正人
7	健常者の BasicADL（座位保持・立ち上がり）			3	講義、担当：貝淵 正人
8	CVA の ADL（ADL）評価			3	講義
9	CVA の ADL（ADL）評価			3	講義
10	CVA の ADL の工夫（更衣・整容について）			3	講義
11	ADL 評価（Barthel Index, Katz Index, FIM）			3	講義、担当：貝淵 正人
12	ADL			2	講義、担当：貝淵 正人
13	dressing			1・2	講義、担当：貝淵 正人
14	toileting			1・2	講義、担当：貝淵 正人
15	まとめ				講義、担当：貝淵 正人
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	2008・5,460 円
		日常生活活動（ADL）新版—評価と支援の実際	伊藤利之、江藤文夫	医薬業出版	2010・7,140 円
参考書		ADL 第2版—作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博	三輪書店	2005・4,725 円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 (1) 出席 2/3 以上 (2) 期末試験 60 点以上 (1) でかつ (2) の場合合格とする			【履修上の留意点】 動きやすい服装で臨むこと。 実際のクライアントと接する際には真摯な態度で臨むこと。		